

令和8年度 年間授業計画

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	新編論理国語（大修館書店）
	補助教材：	新編論理国語学習ノート（大修館書店）、新編論理国語学習ノート小説編（大修館書店）、常用漢字ダブルクリア（尚文出版）、常用漢字ダブルクリアトレーニングノート（尚文出版）

教科（国語）の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（論理国語）の目標

【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和8年度 年間授業計画 科目（ 論理国語 ）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数			
		話・聞	書	読								
1 学 期	単元 論理と出会う	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価規準に従い評価する。  知識・技能 自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やしている。  思考・判断・表現 文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめている。  主体的に学習に取り組む態度 語彙や文章の内容を自らの言語生活に生かしている。	○	○	○	10			
	知識及び技能	指導事項										
	自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やす。	論理										
	思考力、判断力、表現力等	教材										
	文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめる。	「知の登山、知の水路」「論理的な人とはどういう人か」										
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面			○	○	○	2					
語彙や文章の内容を自らの言語生活に生かしていく。	小テスト、課題の提出、語句調べ											
定期考査（中間考査）/返却と解説												
単元 具体と抽象	指導項目に対し、次の教材等を活用する。							次の観点別評価規準に従い評価する。  知識・技能 自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、舞台と抽象について理解を深めている。  思考・判断・表現 具体と抽象や、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめている。  主体的に学習に取り組む態度 語彙や具体と抽象という考え方、文章の内容を自らの言語生活に生かしている。	○	○	○	12
知識及び技能	指導事項											
自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、舞台と抽象について理解を深める。	具体と抽象											
思考力、判断力、表現力等	教材											
具体と抽象や、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめる。	「ウサギの耳はなぜ長い?」「記号的メディアと物理的メディア」											
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面			○	○	○	2					
語彙や具体と抽象という考え方、文章の内容を自らの言語生活に生かしていく。	小テスト、課題の提出、語句調べ											
定期考査（期末考査）/返却と解説												

令和8年度 年間授業計画 科目（ 論理国語 ）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1	単元 対比をとらえる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、対比について理解を深める。	対比				自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、対比について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材			○	思考・判断・表現				
	対比や、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめる。	「米の種類と食文化」「対話の精神」「デジタル地図から見える世界」				対比や、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめている。	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
語彙や対比という考え方、文章の内容を自らの言語生活に生かしていく。	小テスト、課題の提出、語句調べしていく。				語彙や対比という考え方、文章の内容を自らの言語生活に生かしている。					
2	単元 主張をつかむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、主張と根拠について理解を深める。	主張と根拠				自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、主張と根拠について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材			○	思考・判断・表現				
	主張と根拠の関係をふまえ、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめる。	「文化としての科学」「『考える事』であり続ける」				主張と根拠の関係をふまえ、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめている。	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
主張と根拠という考え方、語彙や文章の内容を自らの言語生活に生かしていく。	小テスト、課題の提出、語句調べしていく。				主張と根拠という考え方、語彙や文章の内容を自らの言語生活に生かしている。					
定期考査（中間考査）/返却と解説							○	○	○	2
3	単元 論理的に書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	小論文の書き方について理解を深める。	論理的に書くこと			○	小論文の書き方について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材			○	思考・判断・表現				
	具体と抽象、対比、主張と根拠といった概念をふまえて、小論文を書く。	「根拠をふまえて主張を書く」「構成を考えて書く」「反論を想定して書く」「文章を磨き上げよう」				具体と抽象、対比、主張と根拠といった概念をふまえて、小論文を書いている。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
説得的な文章の書き方を身につけ、自らの言語生活に生かしていく。	小テスト、課題の提出、語句調べしていく。				説得的な文章の書き方を身につけ、自らの言語生活に生かしている。					
定期考査（期末考査）/返却と解説							○	○	○	2

令和8年度 年間授業計画 科目 ( 論理国語 )

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3 学 期	単元 統計資料を活用する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、文章と資料の関係について理解を深める。	文章と資料				自らの言語生活に活かせる語彙の量を増やし、文章と資料の関係について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	文章と資料の関係、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめる。	「量の時代から質の時代へ」「若者の「海外旅行離れ」は本当か？」			○	文章と資料の関係、文章の展開に沿って内容を的確に捉え、要旨をまとめている。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
文章と資料の関係について学んだこと、語彙や文章の内容を自らの言語生活に生かしていく。	小テスト、課題の提出、語句調べ				文章と資料の関係について学んだこと、語彙や文章の内容を自らの言語生活に生かしている。					
定期考査 ( 期末考査 ) / 返却と解説							○	○	○	2
合計										
70										